平成 24 年 3 月 29 日

各　　位

会社名　　三菱重工業株式会社
代表者　　取締役社長　大宮　英明
（コード番号 7011）
上場取引所　東　大　名　福　札
問合せ責任者　総務部長　近藤　孝司
（TEL03-6716-3111）

当社小型空冷式ガソリンエンジン事業の会社分割による連結子会社への承継に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が営む小型空冷式ガソリンエンジン事業を、当社の100%出資子会社である三菱重工エンジンシステム株式会社（以下、「MES」という。）に承継させる会社分割を行う方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．会社分割の目的

当社が営む小型空冷式ガソリンエンジン事業は、世界的な不況や国内外での価格競争激化等により、厳しい事業環境となっております。

こうした事業環境下、今後、事業の再建を行っていくうえで、スリムで俊敏な事業体への変革に向けた抜本的対策が急務となっているため、当社は、平成 24 年 7 月 1 日付で、小型空冷式ガソリンエンジン事業を簡易吸収分割により当社の 100%出資子会社である MES に承継させる方針を決定いたしました。

なお、詳細につきましては、別添のニュースリリースをご参照ください。

２．会社分割の要旨

（１）分割する事業内容

小型空冷式ガソリンエンジン事業並びにこれに付帯する事業。

（２）承継会社の概要

名　　称	三菱重工エンジンシステム株式会社
所　在　地	東京都品川区西五反田七丁目 25 番 5 号
代表者の役職・氏名	取締役社長　小鯛　志郎
事　業　内　容	１．次の機械、機器、装置及びこれに関するシステム機器の販売、据付、修理、改造及び保守 ・内燃機関（ディーゼル、ガス及びガソリンエンジン）及び関連機械 ・船舶及び関連商品 ・舶用機械及び農林業用機械 ２．前号に掲げたものの賃貸（リース）再生、加工、中古品の販売、部品・付属品等の製造、販売、修理及び保守並びに付帯関連事業

資　　本　　金	450 百万円
従　業　員　数	366 人（平成 24 年 1 月 1 日現在）
売　　上　　高	28,374 百万円（平成 23 年 3 月期）
大株主及び持株比率	三菱重工業㈱　　100%

（3）会社分割の日程（予定）

取　締　役　会　決　議　日	平成 24 年 4 月下旬
契　　約　　締　　結　　日	平成 24 年 4 月下旬
実 行 予 定 日 （ 効 力 発 生 日 ）	平成 24 年 7 月 1 日

（4）その他

詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

3．今後の見通し

本件分割による当社業績への影響は、連結、個別ともに軽微です。

以　上

別添

平成 24 年 3 月 29 日
三菱重工業株式会社

小型空冷式ガソリンエンジン事業を三菱重工エンジンシステム（株）に移管
スリムで俊敏な事業体制を構築

三菱重工業は 7 月 1 日付で、小型空冷式ガソリンエンジン（メイキエンジン）事業を当社 100%出資子会社である三菱重工エンジンシステム株式会社（以下、MES 社、本社：東京都品川区）に移管する方針を決定した。汎用機・特車事業本部（神奈川県相模原市）の販売・サービス会社である MES 社に、小型空冷式ガソリンエンジン事業の製造と営業機能を集約するもので、これにより、厳しい市場環境の変化に対応したスリムで俊敏な事業体制を構築し、小型空冷式ガソリンエンジン事業の競争力強化をはかっていく。

MES 社は、当社の小型空冷式ガソリンエンジン事業を簡易吸収分割により承継する。対象となるのは、農業機械や発電機などに搭載する 0.7～9.6kW の小型空冷式ガソリンエンジン事業で、MES 社は同エンジンの製造から販売・サービスまでを一貫して手掛けることとなる。
これにより、これまで以上に、顧客ニーズをダイレクトに製造部門へフィードバックする体制を構築、強力な営業を展開していく。

次世代製品などの開発を担う設計業務は、これまで通り当社が担当する。電子制御技術の採用や電動化の進む市場の動きに総合力で対応していくためで、当社の事業本部・研究所を跨いだ技術的リソースを活用して次世代製品などの開発を進める。

また、生産は、きめ細かな対応が要求される建設機械や農業機械搭載用機種については国内で生産し、低価格志向の強い汎用機種については中国で生産するなど、それぞれ市場の要求に即して生産拠点の棲み分けを進めていく。

MES 社は、ディーゼルおよびガスエンジン発電システム、産業用エンジン、舶用エンジン、過給機などの販売・サービス会社。設立は 2006 年。

当社は MES 社と密接に連携し、同社の事業展開を全面的に支援していく。

担 当 窓 口：汎用機・特車事業本部

以 上